経営比較分析表（平成30年度決算）

佐賀県　鹿島市

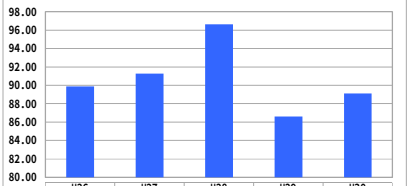
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	38.58	90.94	2,592

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
29,351	112.12	261.78
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
11,255	3.34	3,369.76

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1．経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	89.90	91.30	96.63	86.61	89.14
平均値					

②累積欠損金比率(%)

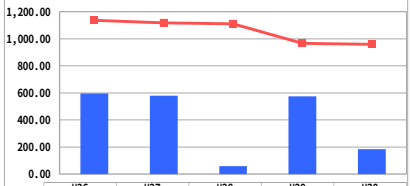
	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③流動比率(%)

	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

④企業債残高対事業規模比率(%)

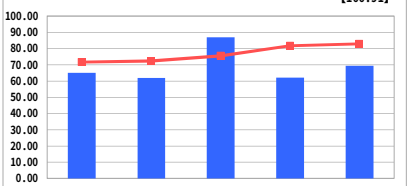
【682.78】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	597.30	579.82	58.91	575.30	185.54
平均値	1,136.50	1,118.56	1,111.31	966.33	958.81

⑤経費回収率(%)

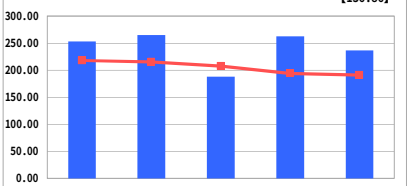
【100.91】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	65.02	62.03	87.03	62.09	69.47
平均値	71.65	72.33	75.54	81.74	82.88

⑥汚水処理原価(円)

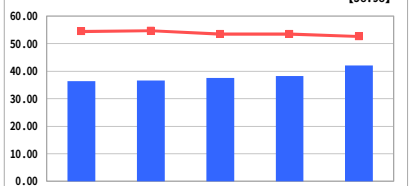
【136.86】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	253.11	265.05	188.28	263.02	236.91
平均値	217.82	215.28	207.96	194.31	190.99

⑦施設利用率(%)

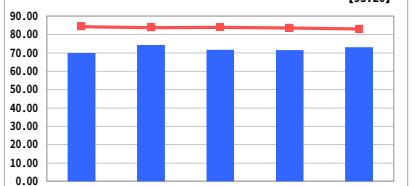
【58.98】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	36.42	36.58	37.60	38.24	42.03
平均値	54.44	54.67	53.51	53.50	52.58

⑧水洗化率(%)

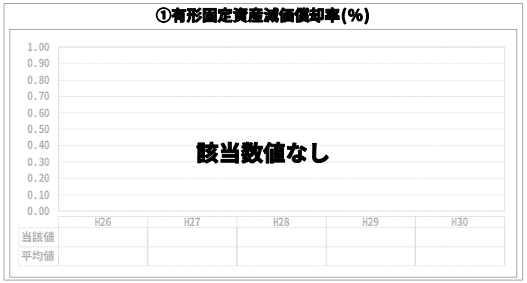
【95.20】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	69.92	74.23	71.67	71.56	73.09
平均値	84.20	83.80	83.91	83.51	83.02

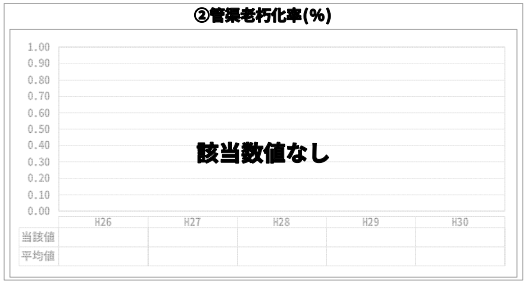
2．老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

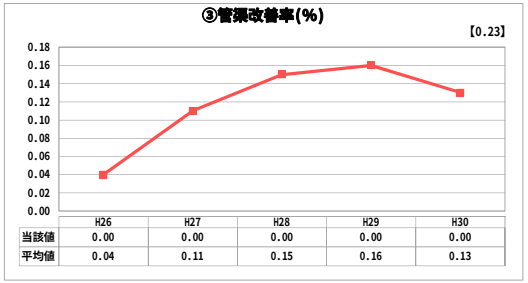
②管渠老朽化率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③管渠改善率(%)

【0.23】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.04	0.11	0.15	0.16	0.13

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1．経営の健全性・効率性について

昭和６１年度の事業開始以来、３３年が経過しているが、事業進捗率（面積ベース）は５０%と低いため、施設利用率が類似団体平均値を下回っている。
今後は汚水事業区域を縮小するとともに、官民連携手法（設計・施工一括発注）などの導入による事業進捗の促進で事業の健全性の向上を目指す。
また、公営企業会計の導入などを進め、平成２８年度に策定した経営戦略と共に経営状況のさらなる再検証を行ない、効率性を向上を目指す。

2．老朽化の状況について

現在、平成２８年度に策定したストックマネジメント計画に基づいて、計画的な更新事業と点検調査事業を実施しており、持続可能な下水道事業の推進を進めている。
今後は上記計画の定期的な進行状況の管理、適切な時期での計画の精査を行い、施設全体の長寿命化とリスクマネジメントを進めていく。

全体総括

本市の公共下水道事業は、雨水対策を優先して行ってきたため、汚水事業の進捗状況が遅く、浄化センターなどへの投資に見合う十分な汚水量を確保できていないことが、収益的収支比率・経費回収率・汚水処理原価・施設利用率の悪化につながっているものと分析する。
経営の健全化につながる早期概成を目指し接続区域拡大のための工事推進と、大口排水事業者の接続推進になるような多角的な事業運営を進める。また、公営企業会計の導入を進め、経営の可視化により、さらに効率化を図る。